

戸田市立学校給食センター

て あら たつ じん
手洗い達人

ことし
今年(とし)はたつ年(とし)!

めざ
給食の「たつ人」
を目指そう

ざら たつ じん
お皿ピカピカ達人

も っ たつ じん
盛り付け達人

しせい たつ じん
よい姿勢(しせい)達人

づか たつ じん
はし使い(づか)達人

あとかた づ たつ じん
後片付け(あとかた)達人

しゆう ちゆう りよく
集中力(しゆうちゅうりよく)を高める食事(しょくじ)とは?

べんきょう こうりつ すず はやね はやお あさ た
勉強(べんきょう)を効率(こうりつ)よく進める(すす)には、早寝(はやね)・早起(はやお)をし、朝ごはん(あさ)をしっかりと食べてから取りかかるとお勧め(すす)です。1日(いち)のうち、脳(のう)が一番(いちばん)活発(かつぱつ)に動く(うご)くのは午前(ごぜん)中(ちゆう)なので、朝ごはん(あさ)で脳(のう)へエネルギー(えんじやう)を補給(ほくけい)することが、やる気(き)や集中力(しゆうちゅうりよく)を高めることにつながります。また、脳(のう)を活性化(かっせいか)するには、よくかむことも重要(じゆうじゆう)です。スープ(す)やゼリー(じやうり)飲料(えんりやう)などで済ませず(す)、主食(しゆじ)とおかず(おかず)を組み合わせて(くみあ)食べる(た)ことを心がけ(こころ)ましょう。

くだ もの
果物(くだもの)

しゆ じよく
主食(しゆじよく)

ぎゆうにゆう にゆうせいひん
牛乳・乳製品(ぎゆうにゆうにゆうせいひん)

しゆ さい
主菜(しゆさい)

ふく さい
副菜(ふくさい)

しるものふく
(汁物含む)

はん つぶ た
ご飯(はん)は粒(つぶ)のまま(た)食べる(た)ので、ゆっくり消化(しょうか)・吸収(きゆうじゆう)され、腹持ち(はらもち)がよく、安定(あんてい)して脳(のう)へエネルギー(えんじやう)を供給(きゆうきやう)します。

のう
脳(のう)へエネルギー(えんじやう)を補給(ほくけい)しよう!

給食(きゆうしょく)の組み合わせ(くみあわせ)を参考(さんこう)にし、よくかんで(た)食べ(た)ましょう。

きゆう しよく れきし こん だて へん せん
1/24~1/30 全国(ぜんこく)学校(がっこう)給食(きゆうしょく)週間(しゅうかん) 給食(きゆうしょく)の歴史(れきし)& 献立(けんてい)の変遷(へんせん)

がっこうきゆうしょく きげん めいじ ねん
学校給食(がっこうきゆうしょく)の起源(きげん)は、明治(めいじ) 22 (1889) 年に(ねん)さかのぼります(はもとむ)。山形県(やまがたけん)の大督(だいとく)寺(じ)という(いう)お寺(てら)の中(なか)にあった(あ)小学校(しょうがっこう)で、お弁当(べんとう)を持って(も)これない(こ)子ども(こ)たちに、昼食(ひるめし)を無償(むじやう)で提供(ていきやう)した(した)ことが(こと)始まり(はじり)とされて(た)います。その後(そののち)、全国(ぜんこく)へとひろがりましたが、戦争(せんそう)による(による)食料不足(しょくりょうふそく)などの影響(えいぎやう)で中断(ちゆうだん)されて(た)しまいました。

せんそう お しょくりょうふそく つづ こ えいよう
戦争(せんそう)が終(お)わっても食料不足(しょくりょうふそく)は続(つづ)き、子ども(こ)たちの栄養(えいよう)状態(じょうたい)が心配(しんぱい)された(た)ことから、学校給食(がっこうきゆうしょく)の再開(さいかい)を求め(もと)める声(こゑ)が高(たか)まりました。アメリカ(あめりか)の LARA (アジア(あじあ)救援(きゆうえん)公認(こうにん)団体(だんたい)) から贈(おく)られた(ら)物資(ぶつ資)を使い、昭和(しやうわ) 22 (1947) 年(ねん) 1月(がつ)に給食(きゆうしょく)が再開(さいかい)しました。

しやう わ ねん きゆうしょく
昭和(しやうわ) 22 年(ねん)ごろ(ごろ)の給食(きゆうしょく)

だつ しふんにゆう かんづめ
脱脂粉乳(だつしふんにゆう)や缶詰(かんづめ)などの(など)物資(ぶつ資)を使(つか)って給食(きゆうしょく)が作(つく)られました。

トマトシチュー・ミルク

しやう わ ねん がつ か ぶし せうてい
★ 昭和(しやうわ) 21 (1946) 年(ねん) 12 月(がつ) 24 日(にち)に物資(ぶつ資)の贈呈(おくるげんせい)式(しき)が行(か)われ、この日(このひ)を「学校給食感謝(がっこうきゆうしょくかんしゃ)の日(ひ)」としました(した)が、冬休(ふゆやす)みと重なる(かさ)ため、昭和(しやうわ) 25 (1950) 年(ねん) 度(ど)からは(は)1 月(がつ) 24 日(にち)~30 日(にち)を「全国(ぜんこく)学校給食週間(がっこうきゆうしょくしゅうかん)」とすることが(こと)定め(さだ)められました。

しやう わ ねん がつこうきゆうしょくほう
★ 昭和(しやうわ) 29 (1954) 年(ねん)に「学校給食法(がっこうきゆうしょくほう)」が成立(せいりつ)し、学校給食(がっこうきゆうしょく)の実施(じし)体制(たいせい)が法的(ていせき)に整(ととの)い、教育活動(きやういくかつどう)として位置(いち)づけられる(ら)るよう(よう)になりました。

しやう わ ねん きゆうしょく
昭和(しやうわ) 25 年(ねん)ごろ(ごろ)の給食(きゆうしょく)

アメリカ(あめりか)から寄贈(きそく)された(ら)小麦粉(こむぎこ)を使(つか)って、パン(ぱん)・ミルク(みるく)・おかず(おかず)の完全(かんぜん)給食(きゆうしょく)が(は)じまりました。

コッペパン・ミルク・カレーシチュー

しやう わ ねん だい きゆうしょく
昭和(しやうわ) 40 年代(だい)ごろ(ごろ)の給食(きゆうしょく)

パン(ぱん)の種類(しゆるい)が増(ふ)え、めん類(めんるい)も提(てい)供(きやう)される(ら)るよう(よう)になりました(な)りました。脱脂粉乳(だつしふんにゆう)のミ(ミ)ルク(ルク)は牛乳(ぎゆうにゆう)へと切(き)り替(か)わりました。

ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

しやう わ ねん だい きゆうしょく
昭和(しやうわ) 50 年代(だい)ごろ(ごろ)の給食(きゆうしょく)

給食(きゆうしょく)の主食(しゆじ)はパン(ぱん)が中心(ちゆうしん)でしたが、昭和(しやうわ) 51 年(ねん)に米飯(まいはん)が正(せい)式(しき)に導(どう)入(にゅう)され、献立(けんてい)の内容(ないよう)も豊(ゆた)かになっ(な)っていきま(い)した。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

こ と ま しょくかんきやう へんか なか へいせい ねん しょくいくきほんほう
★ 子ども(こ)たち(たち)を取り巻(と)く食環境(しょくかんきやう)が変(へん)化(か)する(ら)る中(なか)で、平成(へいせい) 17 (2005) 年(ねん)に「食育基本法(しょくいくきほんほう)」が成立(せいりつ)した(した)。平成(へいせい) 20 (2008) 年(ねん)には、学校(がっこう)における(に)食育(しょくいく)の推(お)進(しん)を図(と)る観(かん)点(てん)から「学校給食法(がっこうきゆうしょくほう)」が大幅(たふく)に改(かい)正(せい)され(ら)れた(た)。(2009 年(ねん) 4 月(がつ) 1 日(にち)施行(しんこう)。

じだい なが とち へんか つづ がっこうきゆうしょく じだい こ たいせつ
時代(じだい)の流(なが)れと共(とも)に変(へん)化(か)を続(つづ)ける「学校給食(がっこうきゆうしょく)」ですが、いつ(いつ)の時代(じだい)も、子ども(こ)たち(たち)を大切(たいせつ)に思(おも)う気持(きもち)が詰(つま)まっています(ま)います。そんな思(おも)いを感じ(かん)じて、おいしく(おいしく)いた(た)だきま(ま)しょう。